

## 太山寺の名宝展

太山寺（神戸市西区伊川谷町前開）は寺伝によると、藤原鎌足の子・定恵和尚が開山、その孫・宇合が開基となり、靈龜2年（716）に創建されたと伝える天台宗有数の古刹である。最も隆盛をきわめたのは鎌倉時代で、その時代に再建された国宝の本堂をはじめ、美術工芸品で16件83点に及ぶ重要文化財を伝えていることでも知られている。当館は、太山寺の全面的な協力を得、指定文化財はもちろん、従来あまり知られていなかった未指定のものも含め調査を実施、新たに多数の文化財を確認することができた。

今回の特別展は、この調査に基づき開催されたもので、初めて展示される作品を含め100件の資料で構成された。その中には全国的にみて珍しく貴重なものが多数あり、太山寺が誇る名宝の数々を通し、神戸の豊かな歴史や文化をあらためて紹介した。

会期／平成5年11月3日（水・祝）～12月19日（日）

会場／南蛮美術館室、特別展示室2

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社

開催日数／32日

入館者数／18,667人（467人／日）

出品件数／100件

